

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	Ⅱ部ファッション流通1年	単 位	6単位
科目コード	科目名	ファッションビジネス概論Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションビジネスに関する基礎を学ぶ、知識として定着させることを目標とする。社会経済の変遷とファッションビジネスの関係、ファッション業界の構造と役割、各職種の役割、マーケティングや計数の基礎など、演習課題を通して理解する。またそれらを活かして自身の設定テーマに沿った自由研究を実施、プレゼンテーションまで実践する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ	テーマ	方法	コマ
オリエンテーション①	講義・演習	1	ファッションマーケティング	講義・演習	1
オリエンテーション② 導入① ファッションとファッションビジネス	講義・演習	1	ファッションマーチャライジング	講義・演習	1
オリエンテーション③ 導入② 消費者の理解 顧客満足	講義・演習	1	FB 能力検定試験対策① 計数知識	講義・演習	1
LifestyleとOccasion① ライフスタイルマップ作成	講義・演習	1	FB 能力検定試験対策② 練習問題	講義・演習	1
LifestyleとOccasion② オケーションマップ実習	講義・演習	1	ブランドプランニング演習① マーケットリサーチ	講義・演習	1
FBの変遷① 1950～1970年代の変遷	講義・演習	1	ブランドプランニング演習② 企画立案	講義・演習	1
FBの変遷② 1980～2000年代の変遷	講義・演習	1	ブランドプランニング演習③ サンプル制作	演習	1
FBの変遷③ 2010～現代の変遷	講義・演習	1	ブランドプランニング演習④ プレゼンテーション準備	演習	1
ファッション産業の構造① 川上 川中	講義・演習	1	ブランドプランニング演習⑤ プレゼンテーション	演習	1
ファッション産業の構造② 川下	講義・演習	1	自由研究① リサーチ結果のまとめ(レポート作成)	講義・演習	1
ファッション産業の構造② 川下	講義・演習	1	自由研究② リサーチ結果のまとめ(レポート作成)	演習	1
ファッション産業の構造③ マーケットリサーチの重要性	講義・演習	1	自由研究③ リサーチ結果のまとめ(プレゼン作成)	演習	1
ファッション産業の構造④ 流通の役割	講義・演習	1	自由研究④ リサーチ結果のまとめ(プレゼン作成)	演習	1
ファッション産業の構造⑤ 経営と情報活用	講義・演習	1	自由研究⑤ プレゼンテーション	演習	1

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションビジネスに関する基礎を講義で学び、いくつかの演習課題を通して理解を深めていく

担当者：佐草 勇樹（文化服装学院 専任講師）

記載者氏名 佐草勇樹

科コード	VR1	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	接客対応スキルⅠ	授業期間	11～1月

担当教員(代表)：小林章子	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・接客販売の基本の流れと、販売員としての基本的な立ち居振る舞いを理解する
- ・接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ
- ・販売員の重要性、必要性を理解する

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
<ul style="list-style-type: none"> ・第一印象の重要性 ・感じの良いFAとは 	講義・ディスカッション・ワーク	1
<ul style="list-style-type: none"> ・販売員の基本マナー 	講義・ロールプレイング	1
<ul style="list-style-type: none"> ・お客さまの購買心理とFAの対応 ・出会いを増やす待機姿勢～迎え入れ 	講義・ロールプレイング	1
<ul style="list-style-type: none"> ・会話に繋がるファーストアプローチ ・会話を弾ませながら情報収集 	講義・ロールプレイング	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを引き出す会話 ・価値が伝わる商品説明 	講義・ロールプレイング	1
<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングテスト 	講義・ロールプレイング	2

【評価方法】

S ～ C ・ F 評価	評価基準	学業評価50%： ロールプレイングテスト、レポート、ファイル管理 授業姿勢50%： 出席状況、授業に対する参加度による総合評価
--------------	------	--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業での接客販売、マネジメント、店舗運営、VMD、スタッフ研修等の業務経験をもとに、接客販売の重要性やファッション業界で必要とされるコミュニケーションスキル・マナー・接客スキルの基本をロールプレイング形式で実践的に指導。課題点を捉え、改善につなげるプロセスも身に付ける。

記載者氏名 小林章子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	2単位
科目コード	100610	科目名	アパレル商品概論Ⅰ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：佐藤 雄太郎

共同担当者：

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

講義・実習を通し、接客をはじめアパレル業界で最低限必要な商品知識を習得、向上させる

商品知識の習得……………(講義・実習)

1、ディテールデザイン……………(講義)

衿、衿ぐり、袖、ポケット等の基本型の名称と特徴を知る。

2、アイテム別商品知識……………(講義・実習)

基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。

また、学習した各アイテム別に今シーズンの写真を元にアイテム解説、コーディネート解説をすることにより接客時の表現力、トレンドの情報収集力を身につける。

① シャツブラウス

② パンツ

③ スカート

④ ワンピース

3、ファッションビジネス能力検定対策

造形知識の範囲を解説する。

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価 60% 授業姿勢40%

商品知識(デザイン、特徴、素材、構造など)について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう。

(前期、後期の平均点と出欠・授業態度)

主要教材図書

ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ

参考図書

ファッションビジネス用語辞典(文化学園 教科書出版)

新ファッションビジネス基礎用語辞典(光琳社出版)

その他資料

アイテム別講義記入プリント

記載者氏名 佐藤 雄太郎

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR1	科 名 II 部 ファッション流通科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 コーディネート I	授業期間	(6/7～7/19)

担当教員(代表)：佐藤 藍衣	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネート提案能力を養う。 課題制作に取り組みながら学習し紙面上でアウトプットすることを目標とする。 ライフスタイル、ファッションイメージに視点を置き、それぞれのコーディネートテクニックの 講義・ビジュアルマップ製作実習を行う。	合計 7 コマ
--	---------

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
ファッションコーディネートとは（ファッションコーディネートの基本的な考え方とその種類について）	講義	1
ライフスタイルに視点を置いたコーディネート・マップ製作	講義・実習	2
ファッションイメージに視点を置いたコーディネート（クラシック・エレガント）マップ製作	講義・実習	3
ファッションイメージに視点を置いたコーディネート（ロマンティック・スポーティブ）マップ製作	講義・実習	4
ファッションイメージに視点を置いたコーディネート（エスニック/フォークロア・マニッシュ）マップ製作	講義・実習	5
ファッションイメージに視点を置いたコーディネート（モダン・アバンギャルド）マップ製作	講義・実習	6
これまでの内容を踏まえたマップ製作・ファイルまとめ・ファイル提出	実習	7

【評価方法】 S～C・F 評価 評価基準：学業評価 90% 授業態度 10%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 様々な視点におけるファッションコーディネートを講義・実習・課題制作を通してコーディネート力、提案力を学ぶ。
--

記載者氏名 佐藤 藍衣

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR1	科 名	Ⅱ部ファッション流通科 1 年	単 位	3 単位
科目コード	502610	科目名	ファッションカラー I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 大串 由美子	共同担当者 : —
-------------------	-----------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。
ファッション色彩能力検定 3 級に対応。

【授業計画】

1. 導入 <1コマ> 講義・実習
色彩のはたらき / ベーシックカラー分類・整理
2. 色彩の体系 <2コマ> 講義・演習
色の三属性とトーン / カラーチャート作成 (Hue&Tone)
3. 配色の基礎 <3コマ> 講義・演習
色相を基準とした配色 / トーンを基準とした配色
色彩構成の基礎 (シンメトリー / アシンメトリー等)
4. ファッションカラーコーディネーション <3コマ> 講義・演習
アクセントカラー / セパレーション / グラデーション
5. 色彩心理 <3コマ> 講義・演習
色の感情効果 / 色の見え (対比等)
6. ファッション産業と色彩 <2コマ> 講義・演習

上記内容について、講義と演習・実習を組み合わせで進める
演習に該当する家庭実習あり

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価50% 授業姿勢50%

主要教材図書	『ファッション色彩 I』『ファッション色彩能力検定試験 3 級問題集』(文化出版局)
参考図書	なし
その他資料	ベーシックカラー140、カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションの流通に関連する色彩について、実習・演習(カラーワーク)を行うことで理解を深め、知識の定着を目指す。
専門学校・大学・企業等での色彩講座・研修・カラーコンサルティングを担当。

記載者氏名 大串 由美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR1	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	3単位
科目コード		科目名	アパレル商品構造論・演習Ⅰ	授業期間	前期

担当教員(代表)：高橋 優	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

裁縫道具の名称や使い方の基礎知識を習得し、サコッシュ製作を通し、基礎縫いを学習する。
カジュアルパンツの縫製を体験し商品への理解を深め、さらにマーケットの動向を探り、調査研究を行う。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	・授業の目標／スケジュール ・学用品確認／縫製用具確認 ・パンツサイズ決め／サコッシュ縫い代つけ	8	・パンツポケット作り／アイロン定規
2	・パターンメイキング／パターンカット ・布地の見積り（無地と柄による違い）	9	・ポケットつけ
3	・パターン配置／裁断準備 ・グループで裁断実習（サコッシュ・パンツ）①	10	・ポケットつけ・脇縫い or 股下・股ぐりロック ・冬期課題説明
4	・グループで裁断実習（サコッシュ・パンツ）② ・切りノッチ	11	・ポケットつけ・脇縫い or 股下・股ぐりロック
5	・ミシン講習／ロックミシン講習	12	・ウェストロック・三つ折り 股下縫い
6	・基礎縫いサコッシュ （手ひも→並み縫い／ミシン、ロックミシン→胴体） ・印つけ	13	・股ぐり縫い ・ウェストゴム入れ／裾上げ ・レポート説明
7	・基礎縫いサコッシュ完成 ・アイロン定規／ミシン／ロックミシンの使い方	14	・仕上げアイロン ・アレンジバリエーション説明

【評価方法】

制作物＋出席状況 （5：5）

主要教材図書

ファッション流通講座⑥、ファッション流通講座①

参考図書

その他資料

記載者氏名 高橋 優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 II 部流通科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション史	授業期間	前期 or 後期

担当教員(代表)：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

20 世紀以降のファッションの歴史について、社会、メディア、デザイン、アートなどの変容と関連させながら講じる。今日までつながるファッション・システムはどのように整備され、変化していったのか。その歴史を概観しつつ、ファッションが私たちの身体に与える影響についての理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
ガイダンス	座学	1
19 世紀後半～20 世紀初頭	座学	1
1910 年代～1930 年代	座学	1
1940 年代～1950 年代	座学	1
1960 年代～1970 年代	座学	1
1980 年代～1990 年代	座学	1
まとめ	座学	1

【評価方法】

授業態度、授業内課題を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

授業の特徴と担当教員紹介

昭和女子大学環境デザイン学科専任講師。被服環境学博士。専門は文化社会学、近現代ファッション史。大学で教鞭を執るほか、パリコレクションなどの取材を継続して行なっている。主な著書に、『相対性コム テ ギャルソン論』(共著、フィルムアート社、2012)など。

主要教材図書

文化服装学院編『改訂版・西洋服装史』文化出版局 2012

授業プリント(毎回配布)

参考図書

その他資料

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR1	科 名 II 部ファッション流通科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 コンピュータ・スキル I	授業期間	9/6-12/13

担当教員(代表)：林田春佳

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来、アパレル業界従事者としてビジュアル表現において必要な Adobe Illustrator/Photoshop ソフトの基本操作ができるようになる。またビジネスのシーンで必要とされる Microsoft 社の Word/Excel/PowerPoint も操作を行い、ビジネスシーンで活用できるコンピュータ・スキルを総合的に身に付ける。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
PowerPoint/プレゼンテーションツール基礎 効果的なプレゼンテーションができるようにツールの紹介と技術の習得	講義・演習	2
Photoshop の操作 Photoshop を使用した画像加工の技術習得とコーディネートボードの制作	講義・演習	3
Excel の操作 仕事の上で使用する基本的な操作技術の習得	講義・演習	2
Illustrator の操作 Illustrator を使用したロゴデザインの作成	講義・演習	3
Illustrator/Photoshop の操作 Illustrator と Photoshop を使用して DM とブランド企画マップ制作 Adobe ソフトを使用した応用技術の習得	講義・演習	4

【評価方法】

定期的に提出する課題制作において、授業で取り上げた操作が再現できているかをデータにて確認する。その課題作品を基に

S～C・F 評価（学業成果物評価 80%、授業姿勢 20%）にて評価する。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 USB メモリを使用

授業の特徴と担当教員紹介

全授業の中で一貫したブランディングを想定しながら各課題に取り組めるよう進行。

担当教員：多摩美術大学卒 元文化服装学院常勤教員（WEB デザイン、グラフィックデザイン、テキスタイルデザイン）

記載者氏名 林田春佳

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR1	科 名 II部ファッション流通科1年	単 位	1
科目コード 200300	科目名 アパレル素材論	授業期間	前期

担当教員(代表)：吉村とも子	共同担当者
----------------	-------

教育目標・レベル設定など

アパレル製品の主な素材である布地とそれらを構成する繊維、糸、またそれらの整理、仕上げ、染色加工等に関する基礎知識について「講義」「実習」を通して学習する。さらに、テキスタイル及びアパレル業界のつながりや現状とも関連付けられるようにする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論(講義及び実習) 1コマ
アパレルとは、アパレルの素材、アパレル・テキスタイル産業
「実習」服装調査など
2. 繊維(講義及び実験・演習) 7コマ
繊維とは何か、繊維の分類
繊維の各論 天然繊維(綿・麻・毛・絹 他) 化学繊維(再生・半合成・合成 他)
それぞれの歴史、種類、形態、特徴、加工、用途 等
「実習」精練漂白の効果 繊維の鑑別 布地調べなど
3. 糸(講義及び演習) 2コマ
糸の構成・構造(紡績糸・フィラメント糸・糸の撚り・糸の太さ)
糸の種類(素材別・形態別)
「実習」糸の分類、糸の構成分解、糸の太さなど
4. 布地(講義及び演習) 3コマ
布地の種類、選択
織物 織物の種類(組織・構造・特徴・用途 等) 三原組織・重ね組織・パイル組織・紋組織 他
「実習」織物の組織図、織物の分類など
ニット ニットの種類(組織・構造・特徴・用途 等) たて編み・よこ編み
5. その他の素材(講義) 1コマ
加工布・その他

評価方法

評価基準: 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書

文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座3 「アパレル素材論」 文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック アパレル素材論Ⅰ」文化服装学院教科書部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴: アパレルの素材に関し製品の種類や製品特性・品質とも結び付けながら学習する。

担当教員紹介: 吉村とも子 文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。

記載者氏名 吉村とも子

文化服装学院教務部

共同担当者：

主にテキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯等の取扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義・演習・実習を通して学び、法令遵守の上、実用性能・要求品質を満たしたアパレルの企画・製造・販売ができることを目標とする。

講義 2コマ

- ・商品の保障
- ・製品事故の種類と原因・対策

計：7コマ

学業評価＝各期末試験の得点、平常成績（授業内での応答、課題の評価）60%
授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など40%とし、総合評価する

岩澤 紀子 大妻女子大学大学院修士課程修了。繊維製品の企画卸を経て、現在は通信販売に勤務。

岩澤紀子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR1	科 名	Ⅱ部ファッション流通1年	単 位	1単位
科目コード		科目名	就職対策	授業期間	後期

担当教員(代表)：高橋優	共同担当者：
--------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）

アパレル業界で働く上で必要となる一般常識やマナーを学ぶことを目標とする。また具体的な就職活動の方法を知るためにエントリーシートや面接対策を実施、自身の就職活動に役立てられるように実践する。

コマ	内 容	方法
1	就職活動の心構え 就職活動の現状／業界・職種選び／履歴書について	・講義 ・ディスカッション
2	自己分析を通して自分のPRポイントを考える 自己分析とは何か／長所の見つけ方／希望職種への繋げ方	・講義 ・プレゼンテーション
3	志望動機を通して自分の企業貢献ポイントを考える 志望動機の実例／志望動機に使えるネタ探し	・講義 ・ディスカッション
4	自己PRを履歴書やエントリーシートに落とし込む 封筒の選び方と書き方／応募書類を郵送・持参する際の注意点	・講義 ・ディスカッション
5	覚えておきたい文書と電話対応のマナー Eメール・手紙の基本／電話のかけ方の基本／お礼・お詫び	・ディスカッション ・プレゼンテーション
6	内定を決める面接について 第一印象とマナー／面接の種類とその対策	・ディスカッション ・プレゼンテーション
7	テーマに合わせたグループワークを体験する 就職に向けた心構えと面接練習	・講義 ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 ◇業界選び・仕事選び 自己分析自己 PR【完全版】 ◇エントリーシート 履歴書・志望動機自己 PR【完全版】 ◇最新最強の履歴書 職務経歴書	◇内定を決める！面接の極意 ◇何を PR したらいいかわからない人の受かる！自己 PR 作成術 ◇絶対内定 2023 エントリーシート・履歴書
その他資料 なし	

記載者氏名 高橋優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	Ⅱ部ファッション流通1年	単 位	1単位
科目コード	科目名	特別講義Ⅰ	授業期間	後期

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>現役のファッション業界人を講師として招き、ファッション業界の現状を知ること为目标とする。</p>
--

<p>【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

テーマ	方法	コマ数
販売の仕事	講義	1
プレスの仕事	講義	1
スタイリストの仕事	講義	1
商品企画の仕事	講義	1
バイヤーの仕事	講義	1
古着屋と店舗経営	講義	1
就職活動に向けての心構え	講義	1

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>

<p>主要教材図書 なし</p> <p>参考図書 なし</p> <p>その他資料 なし</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>業界で活躍するプロの話を聞き、職業理解と自身の目標設定につなげる機会とする。</p> <p>担当者：佐草勇樹（文化服装学院 専任講師）</p>
--

記載者氏名 佐草勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	1～2単位
科目コード	科目名	インターンシップa(1W・2W)	授業期間	通年

担当教員(代表): 佐草 勇樹

共同担当者:

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現場でのインターンシップを通して、①業界の現状を知ること、②自身のスキルアップにつなげることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・ 自主参加によるインターンシップ(実習)を実施する。
- ・ インターンシップ企業は自身で開拓、もしくはキャリア支援室に紹介された企業とする。
- ・ インターンシップであるため交通費や賃金は発生せず、無償での実習とする。
- ・ インターンシップ後にはレポートの提出が必要となる。
- ・ 実習時間によって付与される単位数が決定する。
 - インターンシップa 1W: 1週間(8時間×5日間=40時間)に相当する実習には1単位付与
※15コマ相当として換算
 - インターンシップa 2W: 2週間(8時間×10日間=80時間)に相当する実習には2単位付与
※30コマ相当として換算
- ・ 単位付与に必要なレポート内容や実習時間はⅠ部インターンシップと同様とする。

【評価方法】

履修認定(P表示) 評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

企業での仕事内容を理解し、自身のキャリアを考える機会とする。

担当者: 佐草勇樹(文化服装学院 専任講師)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 佐草勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通2年	単 位	6単位
科目コード	600120	科目名	ファッションビジネス概論Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次のファッションビジネスに関する基礎知識をふまえ、ファッションビジネス検定2級合格を目指す。また、ファッションビジネスにおける企画立案のための情報活用の重要性を理解し、演習課題やワークでのアウトプットを行う。その成果を卒業制作に結実させることを目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ	テーマ	方法	コマ
オリエンテーション	講義	1	第7章 ファッション流通のコミュニケーション	講義・実習	2
第1章 ファッションビジネスの特性	講義・実習	1	第8章 キャリアプラン	講義・実習	1
第2章 ファッション生活とファッション消費	講義・実習	1	第9章 ビジネス基礎知識	講義・実習	1
第3章 ファッション産業構造	講義・実習	1	FB能力検定対策	問題・解説	1
第4章 ファッションマーケティング	講義・実習	2	卒業研究(テーマの設定と研究準備、個別面談)	問題・解説	1
第5章 ファッションマーチャンダイジング	講義・実習	2	卒業研究(研究レポート作成、個別面談) 自宅学習含む	問題・解説	4
第6章 アパレル生産と物流	講義・実習	1	卒業研究(研究成果の具現化作業)	問題・解説	3
マーケティング演習(企画立案)	講義・実習	3	卒業研究(成果報告プレゼンテーション)	プレゼン	1
マーケティング概論(プレゼンテーション)	プレゼン	1			
前半の振り返りテスト	講義・実習	1			

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 ファッションビジネス能力検定試験2級ガイドブック

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介 担当者：薫森三義(文化服装学院 専任講師)

ファッションビジネスにおける企画立案のための情報活用の重要性を理解し、演習課題やワークでのアウトプットを実践する。ターゲット理解を重点的に、相手(顧客)と関わりを持つためのコミュニケーションについて学ぶ。

また学びの成果を、各自が設定したテーマを深掘りしながら卒業研究創作として結実させ、口頭と展示形式でのプレゼンテーションを行う。

記載者氏名 薫森三義

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード VR2	科 名 II 部ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 602100	科目名 ショップ計数	授業期間	前期

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します）

ショップスタッフとして必要となるショップ計数についての基本的な知識の修得を目標とする。店メンバーとコミュニケーションを取る上で必要となる計数用語を理解し、計算演習を通して日々の計数管理業務が最低限できるようになることを目指す。またファッションビジネス能力検定試験（2 級）に向けた対策も行う。

回数	内 容	方法	コマ
1	計数の持つ意味、商品の価格構造、売場計数の基本	講義・演習	1
2	マーケットの認識、売場の理解、売上高の構造	講義・演習	1
3	値入高（率）、粗利益高（率）、ロス高（率）、仕入条件と掛率の関係	講義・演習	1
4	在庫高と売上高の関係	講義・演習	1
5	売り場で使われる比率、販売効率	講義・演習	1
6	損益分岐点、BS と PL	講義・演習	1
7	授業内容のまとめ、確認テスト	講義・演習	1

評価方法・対象・比重

S～C・F 評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

販売スタッフとして必要なショップ計数についての基本的知識を修得する。コミュニケーションツールとなる計数用語の理解、計算演習を通して売場で必要な計数管理業務がスムーズにできるようになることを目指す。担当者：薫森三義（文化服装学院 専任講師）

記載者氏名 薫森三義

2023 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23502	科 名 II 部ファッション流通科 2 年	単 位	2
科目コード 606320	科目名 接客対応スキル II	授業期間	4～7 月

担当教員: 門元 伸子	共同担当者:
-------------	--------

<p>科目概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売員としての立ち居振る舞い・実践的な知識を身に付けさせる ・お客様を思いやるホスピタリティ精神がある人材をつくる ・販売をすることの楽しさを知る
--

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・自己紹介/ソーシャルスタイル診断 2. グループディスカッション(入店しやすい・入店にくい店舗) 3. プレゼンテーション①(おすすめ商品紹介) 4. ビジネスマナー①席次、名刺交換 5. チームビルディング(PDCA サイクルを学ぶ) 6. プレゼンテーション②(コーディネート提案) 7. 金銭授受 8. ファーストアプローチ 9. パーソナルなお声がけ/鏡の前接客 10. クロージング 11. 金銭授受/クレーム対応 12. PAL ロールプレイングコンテスト視聴 13. ロープテスト 14. 授業の振り返り
--

評価方法・対象・比重 出席状況・授業態度 45% テスト・レポート 55%

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 門元 伸子

<p>授業の特徴</p> <p>実際の現場での経験を活かしたより実践的な授業を実施。即戦力となる知識・マナーを身につける。ロールプレイングを行い、細かく学習内容を理解・把握していく。</p>

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通科 2 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	アパレル商品概論Ⅱ	授業期間	(集中)

担当教員(代表) : 久保田智美	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

講義、課題の実習、確認テストを通し、接客をはじめ、アパレル業界で最低限必要な商品知識を習得することが目標。
また、ファッションビジネス能力検定 2 級合格のため、ファッション造形知識の試験対策を行う。

【授業計画】

I. 商品知識の習得……………(講義・実習)

1、アイテム別商品知識……………(講義・実習)

商品を扱うために必要な基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。
接客時やクライアント対応のセールストークや表現力、また企画などにも応用できる知識を身につける。
ファッションビジネス検定 2 級の造形知識範囲の試験対策も行う。

- ① アパレル商品知識の概論・総論 0.5
- ② ファッションビジネス検定 2 級 造形知識の試験対策 2.5
- ③ 柄について 2
- ④ ランジェリー・ホームウェア 0.5
- ⑤ アパレル小物 0.5
- ⑥ ニットアウターウェア 1
- ⑦ ジャケット 2
- ⑧ コート 2.5

2、フォーマルウェアの知識……………(講義) 2

メンズ、レディースウェアのドレスコードとその着こなしを理解させる。

3、まとめ試験……………0.5

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：ミニ試験、まとめ試験・課題60% 出欠・授業態度40%

主要教材図書

ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ(商品知識

参考図書

ファッション辞典(文化出版局)

その他資料

ファッションビジネス検定 2 級ガイドブック

記載者氏名 久保田智美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード：VR2	科名：ファッション流通科 2年 II部	単 位	3単位
科目コード：	科目名：ファッションカラーⅡ	授業期間	後期

担当教員(代表)：桑野 恵美	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッション業界における色彩実務について具体的に理解し、色彩の専門的な知識を応用、活用する方法を学ぶ。
ファッション色彩能力検定2級に対応。

1. 色彩理論（光・視覚・心理）
光と色/色覚のしくみ/色彩心理（視認性、誘目性、色のイメージ）
〈講義および演習2コマ〉
2. 色彩体系（色名とカラーシステム）
色名/三属性による色の表示/色見本とカラーコード
〈講義および演習2コマ〉
3. 配色と色彩調和
流行配色（コンプレックス、トーンオントーン、カマイユ/フォカマイユ、トーンイントーン、トータル、ビコ・トリコロール）
調和の技術
（ドミナント、コントラスト、ナチュラルシーケンス）
色彩調和論（ゲーテ、シュヴルール、マンセル、オストワルト、イッテン、ムーン&スペンサー、ジャッド）
〈講義および演5コマ〉
4. ファッション産業における色彩計画
情報としての色彩（商品企画における色彩計画、ファッションイメージと色、移調）/生産段階における色彩計画（色彩管理）/販売における色彩計画（VMD、パーソナルカラー）
〈講義および演習3コマ〉
5. 色彩活用案作成
レポート提出/発表
〈講義および演習2コマ〉

その他：演習に該当する家庭実習有り。

評価方法

S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書 『ファッション色彩Ⅱ』（文化出版局）

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 B5版、カラーチャート（1年次使用教材）

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション・アパレルにおける色彩活用を中心に、商品企画・店舗 VMD などの活動経験をもとに、ファッション業界における色彩実務 についての専門的な知識や活用方法の授業を実施

記載者書名欄 桑野恵美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通科2年	単 位	2単位
科目コード		科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	前期

担当教員(代表)：田口朋子	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

VMD(ビジュアルマーチャンダイジング)の基礎知識を学び、その目的と効果を理解する。演習を通して、店舗、売り場の演出のプランニングやディスプレイテクニクを学ぶ。 装飾展示技能検定3級レベルの習得。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
VMD概論・売場づくりの基本	講義/演習	4
・SD(ストアデザイン)、什器とマネキン、照明の種類と効果、MP(VP/PP/IP)とは		
・演習：平面図記号・什器レイアウト作成		
・MP(マーチャンダイズプレゼンテーション)VP/PP/IPとは		
・VMDにおけるMDとは(商品分類と展開分類)		
MPショーイングテクニク	講義/実技	6
・VP/PP構成、ウェアリング、フォーミング、スタンディング、ラッピング、ピンナップ		
ウィンドーディスプレイプランニング	講義/演習	1
ステージディスプレイ	グループ実習	2
これからのVMD(グループディスカッション)	講義/演習	1

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書 「ディスプレイ・VP・VMD」(文化服装学院編)

参考図書

その他資料 配布プリント、マネキン会社カタログ

授業の特徴と担当教員紹介

店づくりの戦略的なVMDを知り、その業務内容を学ぶ。ディスプレイの基本テクニクを学び、演出プランやステージディスプレイを行う。(担当：田口朋子 VMDとしてアパレルだけでなく多業種で活動)

記載者氏名 田口朋子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` VR2	科 名` II部ファッション流通科 2 年	単 位`	3 単位
科目コード` 100320	科目名` アパレル商品構造論・演習 II	授業期間`	前期
担当教員(代表):徳満 真紀		共同担当者:	
概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) ファッションビジネスにおいて生産・流通・販売されているアパレル商品の構造・パターン・生産の基礎を学ぶ。 実際にシャツを製作することによって構造やパターン生産について理解させる。 製作したアイテムは、シャツ構造のレポート制作、スタイリング提案をまとめプレゼンテーションを行う。			
コマ	内 容		
1	シャツを試着しサイズ決定・直線ミシン練習		
2	パターンカット・裁断・縫い代始末説明		
3	衿芯貼り説明・実習		
4	前端的始末・裾アイロン説明・実習		
5	衿作り(台衿つきシャツカラー)説明・実習		
6	衿付け説明・実習		
7	前身頃と後ろ身頃にヨーク付け説明・実習 ポケット作り・付け説明のみ		
8	袖付け(ロックミシン始末・ステッチ)説明・実習 長袖の短冊、持出し説明・実習		
9	脇袖下 縫い合わせ(アイロンで片返しにたおす)説明・実習 カフス説明・実習		
10	裾上げ始末(三つ折りミシン)説明・実習		
11	ボタンホール説明・実習		
12	ボタン付け(二つ穴、四つ穴、足つきボタン) 仕上げアイロン説明・実習		
13	シャツ試着提出 スタイリング提案とシャツ構造まとめレポート作成		
14	シャツレポートプレゼン・シャツレポート提出		
評価方法・対象・比重 1 成績評価・・・S A B C F 評価 2 評価基準・・・学業評価 60%/授業姿勢 40%			
主要教材図書 文化ファッション大系改訂版ファッション流通講座①コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ (商品構成)文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局			
参考図書 文化ファッション大系改訂版ファッション流通講座②コーディネートテクニックアパレル編Ⅰ (商品知識)文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局			
その他資料 実物参考標本、段階標本、製作動画			
授業の特徴 既定のシャツを試着。各自の体型に合わせたパターンを選び、シャツの構造を学びレポート作成とスタイリング提案を行う。			
担当教員紹介 文化服装学院 専任教授			
記載者氏名 徳満 真紀			

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通2年	単 位	1単位
科目コード	980020	科目名	特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現役のファッション業界人を講師として招き、ファッションビジネスやファッション業界の現状を知ること为目标とする。
また、それらを卒業研究創作にもつなげる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
就職活動に向けて	講義	1
ファッション PR の役割	講義	1
EC ビジネスの現状	講義	1
D2C ビジネスの現状	講義	1
ファッションビジネスにおける SNS 活用	講義	1
WEB マーケティング	講義	1
社会人に向けての心構え	講義	1

評価方法・対象・比重

履修認定 (P 表示) 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

業界で活躍するプロの話を聞き、職業理解と自身の目標設定につなげる機会とする。

担当者：薫森三義 (文化服装学院 専任講師)

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通科2年	単 位	1～2単位
科目コード	945201 945202	科目名	インターンシップb（1W・2W）	授業期間	通年

担当教員（代表）：薫森三義

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現場でのインターンシップを通して、①業界の現状を知ること、②自身のスキルアップにつなげることを目標とする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・ 自主参加によるインターンシップ（実習）を実施する。
- ・ インターンシップ企業は自身で開拓、もしくはキャリア支援室に紹介された企業とする。
- ・ インターンシップであるため交通費や賃金は発生せず、無償での実習とする。
- ・ インターンシップ後にはレポートの提出が必要となる。
- ・ 実習時間によって付与される単位数が決定する。
インターンシップb 1W：1週間（8時間×5日間＝40時間）に相当する実習には1単位付与
※15コマ相当として換算
インターンシップb 2W：2週間（8時間×10日間＝80時間）に相当する実習には2単位付与
※30コマ相当として換算
- ・ 単位付与に必要なレポート内容や実習時間はⅠ部インターンシップと同様とする。

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介

企業での仕事内容を理解し、自身のキャリアを考える機会とする。

担当者：薫森三義（文化服装学院 専任講師）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	VR2	科 名	Ⅱ部ファッション流通2年	単 位	2単位
科目コード	970100	科目名	卒業制作	授業期間	後期

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

2年間の集大成となるファッションビジネス分野についての卒業研究を行う。情報活用を念頭に、各自の研究テーマに基づいた調査・研究から、時代を意識した新たなビジネス企画提案を目標に活動を進める。また、研究結果を成果物として具現化し、プレゼンテーションまで実践する。

※ファッションビジネス概論Ⅱの授業と連動しながら進行する

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
個人の研究活動 企画内容の検討実習、制作物の具現化	個人活動	7
発表イベント企画 パートごとにアイデア出し 展示テーマ決め／図面、掲示物（共通 個人）、ロゴ、チラシなど	グループ活動	1
発表イベント企画 パートごとにアイデア出し 図面、掲示物（共通 個人）、ロゴ、チラシなど	グループ活動	1
発表イベント企画 コンペ形式 図面、掲示物、ロゴ、チラシなど、個人展示装飾決定	グループ活動 プレゼン	1
発表イベント企画 パソコン室での入力作業 共通展示物入力・印刷・絵コンテ提出	実習	1
発表イベント実践 展示スペースの確保と展示装飾	実習	1
発表イベント実践 展示教室でのアテンド業務 当番制で1コマカウント	実習	1
発表イベント実践 展示の撤去と教室整備	実習	1

評価方法・対象・比重

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

時流を捉えたファッションビジネス分野に関する企画立案を実践し、発表イベント（展示）を通して公開する

担当者：薫森三義（文化服装学院 専任講師）

記載者氏名 薫森三義